みんなで１５０周年に向かって！

川小だより

学 校 教 育 目 標

・美点を認める明るい子　・ルールを守る正しい子　・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和６年　１月　９日（金）No.12
狭 山 市 立 入 間 川 小 学 校
〒350―1323 狭山市鵜ノ木５－９
TEL　04-2952-6221　FAX　04-2952-6222

児童数　１／６　現在
４９１名

年頭に当たり　～常識を疑う～

校長　伊藤　秀一

明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、昨年は様々な面でたくさんのご協力を賜りましたことに、まずもってお礼申し上げます。

さて、皆様におかれては穏やかな新年をお迎えのことと思いを馳せ迎えた元日でしたが、夕方に起きた北陸地方の地震で正月気分が一変しました。まずは、被害に遭われた方々には心からのお見舞いと、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

自宅におりましても感じるくらいの揺れが何度かありましたし、テレビの報道等からも、収まることなく何度も続く地震に、遠く離れた狭山市においても不安を覚えたのは私だけではなかったのかと思います。何よりも多くの人が寛いで過ごすであろう正月の午後に、このような天災が訪れることを想像すらしていなかったので、驚きと戸惑いは一層大きなものとなりました。

しかしながら、正月だからとか特別な日だから平穏に過ぎる、などという保証はどこにもありません。これは当たり前のことなのですが、つい忘れてしまいがちです。今回のことを教訓に、いつでもどのような場面でも災害が訪れる可能性があることを肝に銘じなくてはなりません。昨年、本紙の７月号でもご紹介しましたが、地震が発生した際の避難の仕方なども、「屋外に避難せず校舎内にとどまる」「避難後も余震があるものとして安全を確保する」など、従来のものと大きく変わりました。今回の災害を想定外の想定、つまり「災害に対する常識を疑う」機会としたいと考えております。

話は変わりますが、昨年行いました学校評価についてです。保護者の皆様には、年末のお忙しい中でのご協力のお願いとなり、お手数をおかけいたしました。評価にとどまらず、担任や教職員への感謝やお褒めのお言葉、私の学校経営へのお叱り（励ましと受け止めております）もいただくことができました。さらには、具体的な改善策についてもお示しいただくなど、本校の教育活動についてのお考えもいただきました。教職員一同、心から感謝申し上げます。

その結果等の詳しいご報告は、別の機会に改めてお示しいたしますが、これまでは当たり前に行っていたことやご協力を仰いでいたことなどについて、工夫や改善の必要性を感じるご意見もございました。すべてに対して今すぐというわけには参りませんが、こちらについては、教育活動の持続や充実のために「学校教育の常識を疑う」機会といたします。

本年も本校の教育活動に対するご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。